

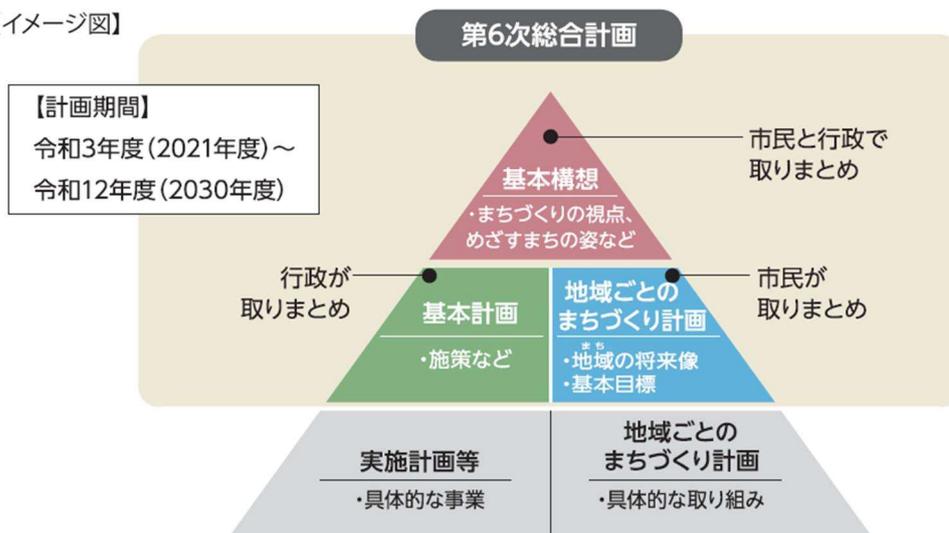
## 地域ごとのまちづくり計画の令和3年度の進捗状況(報告)

令和3年7月に構築した「地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」「進捗管理」の仕組み」(以下「仕組み」という)に基づく、同計画の進捗状況について以下のとおり報告します。

※ 地域ごとのまちづくり計画とは

- (1) 市内20のすべてのまちづくり協議会において、市民自らが地域の現状や課題、ニーズを踏まえ、将来像を描き共有しながら、基本目標や具体的な取り組み等を取りまとめたものです。
- (2) 地域が目指す理想の姿である「地域(まち)の将来像」と分野別の目標である「基本目標」、地域(まち)の将来像の実現に向けて取り組む「具体的な取り組み」の3層で構成しており、その内、「地域(まち)の将来像」及び「基本目標」を「第6次宝塚市総合計画」の一編として位置付けています。

【イメージ図】



### 1 「対話」の状況

地域(まちづくり協議会)が新たに市と対話を進めたい「具体的な取り組み」について、地域と関係課で「対話」を実施しています。なお、協働の取組推進担当次長は「対話」に同席し、取組の実施や課題解決の観点から助言・支援を行っています。

令和3年度は、4つのまちづくり協議会(良元、小浜、山本山手、ひばり)と計8回の「対話」を実施しました。

【令和3年度 対話一覧表】

No	まち協	対話年月日	対話テーマ	関係課(対話時点)
1	良元	R4.1.27	地域住民の安全確保(道路の危険箇所等)	公園河川課 防犯交通安全課 道路管理課 道路建設課
2		R4.3.25	アトム 110 番連絡所、子どもたちの安全の確保	青少年センター
3	小浜	R4.2.28	南海トラフ地震発生時における防災体制等	総合防災課
4	山本山手	R3.10.14	市道 3259 号(けやき坂通)の交通	道路管理課
5		R4.1.31	事故撲滅対策	防犯交通安全課
6	ひばり	R3.11.18	北雲雀きずきの森内の車両通行及び駐車場新設	政策推進課
7		R4.3.3	北雲雀きずきの森への徒歩でのアプローチ方法	施設マネジメント課
8		R4.3.25	北雲雀きずきの森内の車両通行及び駐車場新設、徒歩でのアプローチ方法	政策推進課

※ 各「対話」の概要は別紙1「令和3年度 仕組みに基づく対話の実施状況」のとおり

※ 各「対話」の詳細はグループウェアのライブラリ「協働関連」⇒「04\_地域ごとのまちづくり計画」⇒「対話シート」に掲載

## 2 「進捗管理」の状況

年度末に1～2回程度、1年間の確認(すべての「具体的な取り組み」の評価)と、次年度に新たに行政との「対話」を希望する取組の確認をするための話し合いの場を各まちづくり協議会で設けた上、その結果をまとめた「進捗確認シート」をまちづくり協議会で作成いただき、市民協働推進課に提出いただくこととしています。

令和3年度進捗確認シートについては、令和4年10月1日時点で16のまちづくり協議会から提出があり、評価が「完了・継続」の取組の数は649件でした。

【令和3年度 進捗確認シート集計結果】

(令和4年10月1日時点)

まち協 コード	まち協名	具体的な取り組み 合計数	評価区分		
			完了・継続	調整中	未着手
1	仁川	48	27	1	20
2	高司	42	28	0	14
3	良元	84	未提出(コロナの影響で事務が停滞しているため)		
4	光明	63	61	0	2
5	未成	91	68	5	18
6	西山	94	未提出(コロナの影響で事務が停滞しているため)		
7	未広	48	17	14	17
8	一小	82	54	10	18
9	逆瀬台	49	41	0	8
10	すみれ	43	36	4	3
11	宝小	58	30	0	28
12	売布	55	27	0	28
13	小浜	58	43	7	8
14	美座	37	未提出(コロナの影響で事務が停滞しているため)		
15	安倉	80	未提出(コロナの影響で事務が停滞しているため)		
16	長尾	22	14	6	2
17	中山台	74	71	0	3
18	山本山手	66	47	5	14
19	ひばり	61	45	0	16
20	西谷	95	40	18	37
提出済みの合計		955	649	70	236

※ 各まち協の「進捗管理」の詳細は、グループウェアのライブラリ「協働関連」⇒「04\_地域ごとのまちづくり計画」⇒「★最新版\_地域ごとのまちづくり計画\_具体的な取り組み一覧(令和3年度評価入り).xlsm」に掲載

### 3 協働の取組推進担当次長

室長級職員 20 人を対象に「市民交流部 協働の取組推進担当次長 ○○○まちづくり協議会担当」の兼務辞令を発令し、市内 20 のまちづくり協議会に 1 人ずつ配置しています。

#### (1) 役割

ア 地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」の内、市民と行政が協働で実施するために「対話」を進める取組について、地域と関係課へ、取組の実施や課題解決のための助言や支援を行います。

イ まちづくり協議会が実施する、地域ごとのまちづくり計画の進捗管理を行うための会議へ出席し、具体的な取り組みの進捗状況や次年度の優先順位の決定について、取組の実施や課題を解決する観点から助言や支援を行います。

#### (2) 配置の考え方

地域ごとのまちづくり計画は、第6次宝塚市総合計画に位置付けられ、全庁的に取り組む必要があることから、公営企業を含む全部局から、職種・業務内容・休日出勤等を考慮の上、任命しています。

【協働の取組推進担当次長 一覧表(令和3年度・令和4年度)】

No.	まち協名	R3		R4	
		職員名	所属室名	職員名	所属室名
1	仁川	福田 芳巳	都市整備室長	中村 智成	健康福祉部次長(ワクチン接種担当)
2	高司	平井 利文	会計管理者	平井 利文	会計管理者
3	良元	中村 英一	上下水道局経営管理部長	中村 英一	上下水道局経営管理部長
4	光明	濱田 一二三	建築住宅室長	坂本 滋之	建築住宅室長
5	未成	廣嶋 泰也	子ども家庭室長	廣嶋 泰也	市民生活室長
6	西山	池澤 伸夫	建設室長	中村 修	建設室長
7	未広	藤重 俊昭	企画経営部次長(情報システム担当)	前田 優子	安心ネットワーク推進室長
8	一小	西尾 晃一	行政管理室長	西尾 晃一	産業振興室長
9	逆瀬台	山下 浩	市民生活室長	横山 浩平	行政管理室長
10	すみれ	江崎 康治	生活安全室長	江崎 康治	生活安全室長
11	宝小	植田 昌克	環境室長	古南 恵司	環境室長
12	売布	田邊 哲朗	市税収納室長	田邊 哲朗	市税収納室長
13	小浜	吉岡 多美恵	人権平和室長	吉岡 多美恵	人権平和室長
14	美座	数田 牧	監査委員事務局長	数田 牧	監査委員事務局長
15	安倉	高田 輝夫	管理室長	福井 健介	管理室長
16	長尾	美除 浩	学校教育部次長(特別支援・人権教育担当)	美除 浩	学校教育部次長(特別支援・人権教育担当)
17	中山台	津田 裕司	生涯学習室長	池本 和義	子ども家庭室長
18	山本山手	政処 剛史	産業振興室長	柳田 直記	子ども育成室長
19	ひばり	上治 秀臣	企画経営部次長(公共施設整備担当)	藤田 裕之	企画経営部次長(経営改革推進担当)
20	西谷	下浦 誠	都市安全部次長(北部地域整備担当) 産業文化部次長(北部地域振興担当)	小川 ゆかり	都市安全部次長(北部地域整備担当) 産業文化部次長(北部地域振興担当)

#### 4 仕組みについてのアンケートの実施

令和4年3月にまち協、協働の取組推進担当次長、対話に出席した関係課を対象に、仕組みに関するアンケートを実施しました。

いずれの設問項目についても、「1.特に意見なし」が多く選択されているとともに、肯定的な意見もいただいていることから、現在の仕組みに一定のご理解を得ていると考えています。

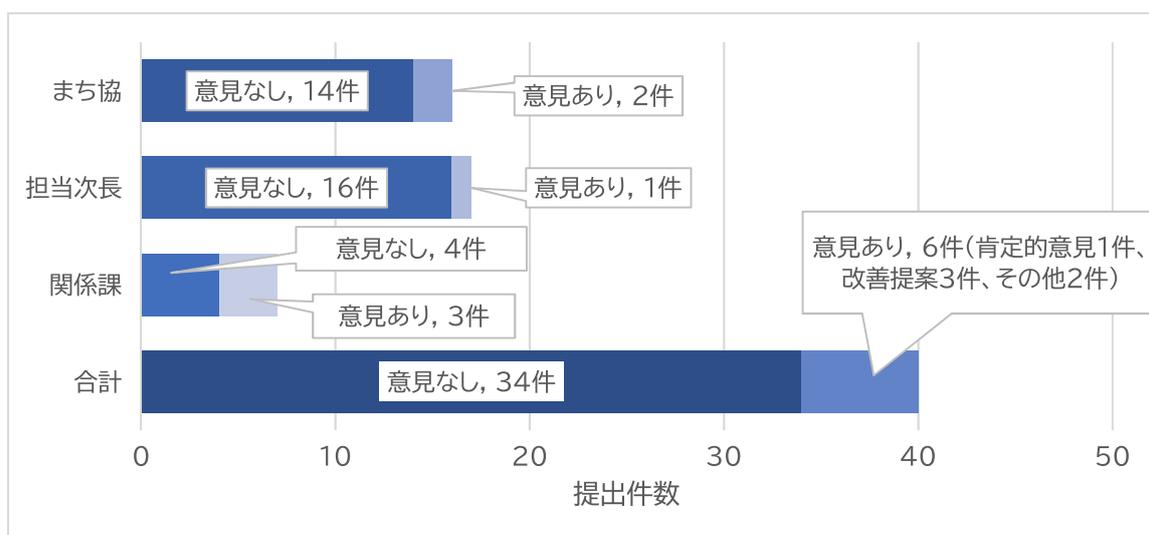
仕組みについては、運用を進める中で気づいたことなどについて随時、意見交換し、必要な修正を行いながら、運用を進めていくこととしています。いただいたご意見を参考にしながら、今後も引き続き、よりよい仕組みとなるよう、運用を進めてまいります。

アンケート結果の概要は以下のとおりです。

##### Q1:【「対話」の仕組みについて】

「推進シート」や「対話シート」の作成、推進シート提出から対話に至るまでの調整など「対話」に係ることについて、ご意見はありますか。

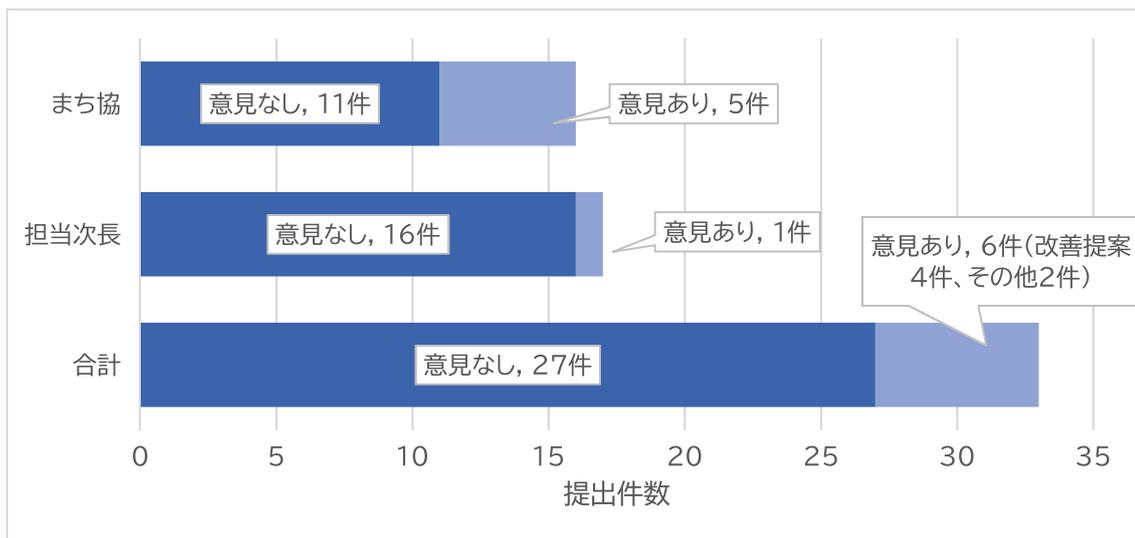
(1:特に意見なし、2:意見あり)



Q2:【「進捗管理」の仕組みについて】

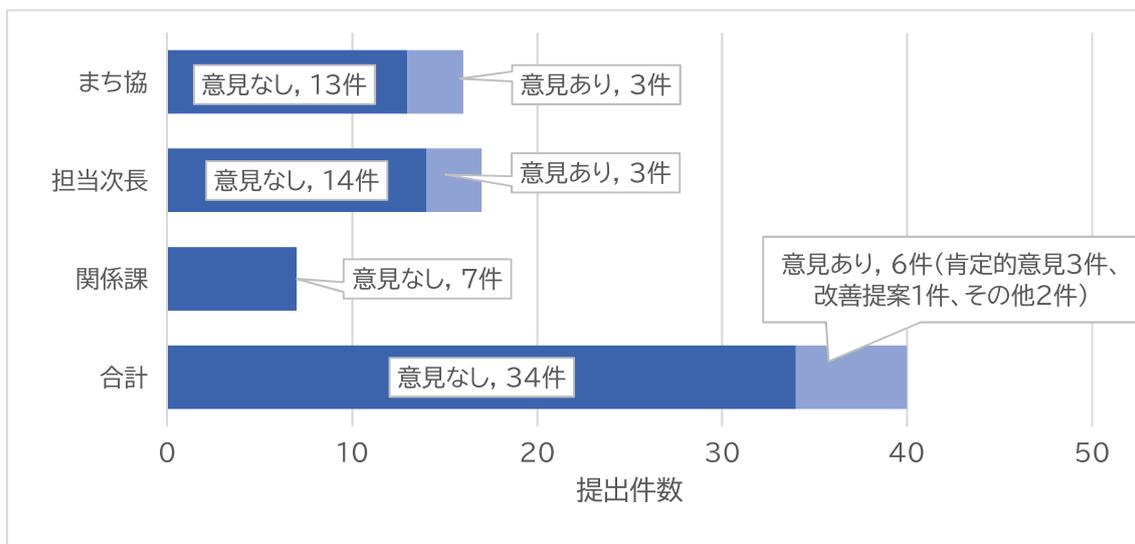
「進捗確認シート」の作成など、進捗管理に係ることについて、ご意見はありますでしょうか。

(1:特に意見なし、2:意見あり)



Q3:「協働の取組推進担当次長」の「対話」「進捗管理」の関わり方について、ご意見はありますでしょうか。

(1:特に意見なし、2:意見あり)



※ アンケートでいただいたご意見及び各ご意見に対する市民協働推進課の考え方については、別紙2及び別紙3のとおり

## 令和3年度 仕組みに基づく対話の実施状況

連番	まち協No	まち協名	対話日時	対話テーマ	関係課(対話時点)	対話の結果(概要)
1	3	良元	令和4年1月27日	地域住民の安全確保(道路の危険箇所等)	公園河川課 防犯交通安全課 道路管理課 道路建設課	①道路や公園の改善要望の内、19箇所について市において改善対応を進めた(植栽剪定、交差点マーク・看板の設置、宝塚警察署への連絡等)。 ②3点の継続課題(道幅が狭く交通量が多い変則十字路の改善、荒地西山線開通時の安全対策、旧県道の歩道・ガードレール整備)について、今後も継続して協議していくこととなった。
2	3	良元	令和4年3月25日	アトム110番連絡所 子どもたちの安全の確保	青少年センター	①まち協において、「アトム110番連絡所」を地域が協力して新規開拓していくことや、子どもたちに「アトム110番連絡所」の所在を知ってもらうための取組を進めていくこととした。 ②まち協から、引き続き「アトム110番連絡所」の周知に努めることと、更新手続きの徹底やパトロールの充実を要望された。
3	13	小浜	令和4年2月28日	南海トラフ地震発生時における防災体制等	総合防災課	①市の防災体制や、住民との連絡方法、避難方法等について意見交換を行った。 ②まち協へ、地域防災計画の策定の検討及び災害保険の加入・建物の耐震化などの住民への周知を依頼した。
4	18	山本山手	令和3年10月14日	市道3259号(けやき坂通)の交通事故撲滅対策	道路管理課 防犯交通安全課	①長尾山トンネルへ向かう道が分かるような案内看板の設置を市において実施した。また、PTAと連携して、横断旗を設置した。 ②まち協が「危険な場所」と「どういったことが危険なのか」を具体的に書面と地図にまとめ、市に提出することとし、その上で、再度、対話を実施することとなった。
5	18	山本山手	令和4年1月31日	市道3259号(けやき坂通)の交通事故撲滅対策	道路管理課 防犯交通安全課	①事故情報について、市から宝塚警察署に依頼し、年1回提供されることとなった。 ②危険箇所10箇所の内、4箇所については双方が役割分担(まち協から関西電力・宝塚警察署等への働きかけ、市における防護柵の設置等)して進めることとなった。 ③残り6箇所については、市の提案した対策内容案(樹木伐採、カラー舗装の設置等)について、実施の可否をまち協で検討することとなった。

連番	まち協No	まち協名	対話日時	対話テーマ	関係課(対話時点)	対話の結果(概要)
6	19	ひばり	令和3年11月18日	北雲雀きずきの森内の車両通行及び駐車場新設	政策推進課	<p>①まち協環境部会が、きずきの森北側駐車場からグラウンドに至るアクセス道路について、グラウンド利用車両の通行に反対であること、また、宝塚医療大学横に駐車場の新設を要望された。</p> <p>②北雲雀きずきの森や花屋敷グラウンド、旧独身寮跡地という既存ストックを有効活用することが望ましいとの考え方は、両者で一致した。</p>
7	19	ひばり	令和4年3月3日	北雲雀きずきの森への徒歩でのアプローチ方法	施設マネジメント課	<p>①「満願寺方面からきずきの森に入る徒歩ルートの整備」の要望について、当該土地が民有地であり、市が寄附を受けることについて調整中の段階であることや寄附者の意向の説明をし、まち協はこの要望を保留することとした。</p> <p>②当該土地の寄附を受けてほしい旨要望された。</p>
8	19	ひばり	令和4年3月25日	北雲雀きずきの森内の車両通行及び駐車場新設、徒歩でのアプローチ方法	政策推進課	<p>①まち協から、11/18及び3/3の対話で表明した「宝塚医療大学横の駐車場新設」及び「満願寺方面からきずきの森に入る徒歩ルートの整備」について撤回の申し入れがあった。</p> <p>②まち協から、①の駐車場新設要望に代わるきずきの森北駐車場の増設について、包括的な考えのもと関係各部署との対話の継続を要請された。</p>

## 別紙2:アンケート「意見あり」の内容及び市民協働推進課の考え方

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
1	Q1「対話」の仕組みについて	まちづくり協議会	各重点テーマとも、具体策になればなるほど、詳細項目が、多岐にわたる為、それ等を、仕組みシートに載せて対話を進めるには、大変なパワーが不可欠となる	ご意見のとおり、「具体的な取り組み」の内容によっては、実現のために取り組むべき項目が多岐にわたるなど、「対話」を進めるにあたって時間も労力も相当にかかるものもあるかと存じます。例えば、最初から全ての項目に取り組むのではなくとも、まずは地域と行政の双方にとって取り組みやすい項目から対話を開始していくといった方法も考えられます。どのように「推進シート」をまとめ、対話を進めていくかということについても、是非一度、担当次長や市民協働推進課にご相談ください。
2	Q1「対話」の仕組みについて	まちづくり協議会	時間と手間がかかりすぎる。	新たに「対話」を始める取り組みについて「推進シート」を積極的にご活用いただくこととしていますが、ご意見のとおり、対話の場の調整や「対話シート」の作成等に時間を要している状況です。課題の内容や範囲が明らかですぐに対応が可能な取り組みなど、内容に応じて、調整や対話の方法、その他事務手続きを簡素化できないか等を検討したいと考えています。
3	Q1「対話」の仕組みについて	協働の取組推進担当次長	「推進シート」がまだ提出されていないので具体的な意見はありません。しかし、コロナ禍でなかなか進まなかったのは理解しますが、各まちづくり協議会間で進捗に差が生じていることもあり、担当している地区が遅れているのではと焦りを感じています。担当次長として「やむを得ないと思いつつ、これでよいのか。」と思っています。	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の停滞や見直しを余儀なくされている状況であるとの声が、各まち協から届いていました。今後、感染症の状況も踏まえつつ、地域の実情に応じて少しずつでも取組が進むよう、各まち協の情報共有等を図りながら、地域の皆様と一緒に考えてまいります。

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
4	Q1「対話」の仕組みについて	関係課	対話に至るまでの調整、対話シートの作成は、市民協働推進課に行っているため事務的負担はあまりありませんでした。まち協から推進シートが提出されると対話を行い、議事録が公表されます。推進シートの内容によっては、市が現在進行形で進めている事業で、触れられることにより進捗に影響します。推進シートの内容について、まち協と担当課で事前相談できる場があれば、効率的であると思います。	「対話」の内容を公表することで、より多くの市民の皆様にもまちづくりについて知ってもらうことは重要と考えていますが、公表することにより事業の進捗に影響するような場合は、公表の有無も含めて「対話シート」の取り扱いについて地域とも相談しながら検討します。
5	Q1「対話」の仕組みについて	関係課	市民(まちづくり協議会)との対話は大切なことですし、その対話を“見える化”することも重要だと考えます。地域ごとのまちづくり計画の対話と進捗管理の仕組みが今後も機能していくことを強く願っています。	引き続き、地域及び庁内のご意見をお聴きしながら、仕組みの運用を継続してまいります。
6	Q1「対話」の仕組みについて	関係課	当課が参加させていただいた対話の内容の多くは特定の自治会内に限った要望事項であり、対話の場は多くの方の意見を聞くことができる反面、関係者が多くなることで意思決定に時間がかかり、スピード感を持った対応が難しくなってしまうように感じます。	新たに「対話」を始める取り組みについて「推進シート」を積極的にご活用いただくこととしていますが、ご意見のとおり、対話の場の調整や「対話シート」の作成等に時間を要している状況です。課題の内容や範囲が明らかですぐに対応が可能な取り組みなど、内容に応じて、調整や対話の方法、その他事務手続きを簡素化できないか等を検討したいと考えています。
7	Q2「進捗管理」の仕組みについて	まちづくり協議会	コロナ禍に大きく影響を受け、ほとんど活動できなかったのが実情である	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の停滞や見直しを余儀なくされている状況であるとの声が、各まち協から届いていました。今後、感染症の状況も踏まえつつ、地域の实情に応じて少しずつでも取組が進むよう、各まち協の情報共有等を図りながら、地域の皆様と一緒に考えてまいります。

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
8	Q2「進捗管理」の仕組みについて	まちづくり協議会	当コミュニティでは、進捗確認シートは担当の部長に任せました。その評価に「挨拶運動の展開」が有りました。部長の判断は既に実施しているので評価は継続でした。部長が属している団体が挨拶運動に熱心なため、この判断になったと思います。当コミュニティとしては、役員・部長会を開催して評価をすべきで有ったのではないかと反省をしています。評価は継続だから、これから精力的に挨拶運動を実施することに致します。	評価の実施方法については、各まち協において計画の推進体制に合った方法で進められており、様々です。事前に部会ごとに仮評価したうえで、定例会や役員会等で共有し調整を図るといった方法で評価を実施しているまち協もあります。
9	Q2「進捗管理」の仕組みについて	まちづくり協議会	基本的に進捗管理は市役所サイドでお願いしたい	地域ごとのまちづくり計画は、市民の方自らが地域の現状や課題、ニーズを踏まえ、将来像を描き共有しながら、目標や具体的な取組等を取りまとめた計画です。進捗管理においても、市民の皆様の視点で見た現状に基づいて評価していただくことで、市民ニーズに応じた市民主体のまちづくりの推進に繋がっていきますので、ご負担をおかけしますが、各まち協において「進捗確認シート」の作成をお願いいたします。
10	Q2「進捗管理」の仕組みについて	まちづくり協議会	進捗確認シートの用紙が「A3」であることより作業が大変。家庭内のパソコンでは、印刷機が扱えないので縮小を考えていただきたい。	ご意見を受けまして、必要に応じてA4サイズでも印刷ができるように様式を一部修正いたしました。

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
11	Q2「進捗管理」の仕組みについて	まちづくり協議会	<p>当コミュニティの場合、検討項目が61あり、詳細に見るとコミュニティとして取り組む大きな項目を2～3に絞るべきである。我々は、課題解決に向けて、検討しますが、市側は助言だけ？課題を住民に丸投げでは？課題解決を住民に任せるのは、他の市でもやっているのでしょうか？</p> <p>plan、do、check、actionで課題を解決していこうは賛成ですが、(課題によりますが、)1サイクルを年単位で行動するのは長すぎます。我々は、1週間、日単位で考えます。計画が上手く行かないようであれば、即、次の案を考えて実行してきました。</p> <p>昨年の、イベントにおいても、日程が決まっており、その都度、計画を見直し、やっと結果を出してきました。</p>	<p>地域ごとのまちづくり計画の具体的な取り組みの内、市民と行政が協働で取り組んでいくものについては、まち協と関係課が「対話」を重ね、課題や役割分担などを話し合いながら、一緒に取り組みを進めていきます。</p> <p>地域ごとのまちづくり計画に類似する他市施策としては伊丹市の地域ビジョン、川西市の地域別計画等がありますが、その内容や位置づけ等は自治体により様々です。</p> <p>コロナ禍という先の読めない状況の中、課題があればその都度内容を見直し、成果を挙げられてきたことは素晴らしいことと存じます。「対話」「進捗管理」の仕組みにおいては、年単位でのPDCAを記載していますが、ご意見のとおり、課題や取り組み内容に応じて、より効果的な手法を選択いただくことが望ましいと考えますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>
12	Q2「進捗管理」の仕組みについて	協働の取組推進担当次長	<p>進捗管理シートの作成については、各まちづくり協議会が作成することになっていますが、担当しているまちづくり協議会から、地域のまちづくり計画の策定際、コンサルが入って計画書という形にしてくれたように、今回の進捗管理シートの作成についても、地域の思いや意見を述べることはできるが、行政の方でお願いできないか再考してほしい という意見がありました。是非、再考をお願いします。</p>	<p>地域ごとのまちづくり計画は、市民の方自らが地域の現状や課題、ニーズを踏まえ、将来像を描き共有しながら、目標や具体的な取組等を取りまとめた計画です。進捗管理においても、市民の皆様の視点で見た現状に基づいて評価していただくことで、市民ニーズに応じた市民主体のまちづくりの推進に繋がっていきます。また、コンサルへの業務委託については、予算上、難しい状況です。ご負担をおかけしますが、各まち協において「進捗確認シート」の作成をお願いいたします。</p>
13	Q3「協働の取組推進担当次長」の関わり方について	まちづくり協議会	<p>特に、アトム110番、子どもたちの安全を守る等のテーマで、意見交換会を開催できたのは、推進担当次長の御尽力がめざましい</p>	<p>担当次長の関わり方についてご評価いただき、ありがとうございます。今後も対話が円滑に行われるよう、担当次長と市民協働推進課で連携しながら取り組んでまいります。</p>

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
14	Q3「協働の取組推進担当次長」の関わり方について	まちづくり協議会	<p>※反対意見ではありません。</p> <p>私たちのコミュニティは、推進シートで要望内容を示しました。この内容を市の関係課に知らされ、市の対策内容(案)を文書にして示していただきました。文書の説明は、担当次長自らからしていただきました。次長は計画作成時から担当していただいておりますので、内容も良くご存知でした。</p> <p>この結果は、協働で計画を推進して行くうえで大変有効であると思います。関係課との交渉は、コミュニティ担当者自らが行いたいとの意見がありました。私たちはこれから交渉がありますが協働の効果を十分に果たしたいと思っています。</p>	<p>まち協と関係課が直接「対話」していただくことが基本であり、協働の取組推進担当次長は、両者にとっての相談窓口や、取組の実施や課題解決のための助言や支援といった役割を担います。</p> <p>今回のように、案件によっては担当次長から説明させていただくような場合もあるかと存じますが、その際、関係課と直接対話したいといったご希望があれば、是非、担当次長にお伝えください。</p>
15	Q3「協働の取組推進担当次長」の関わり方について	まちづくり協議会	<p>協働の取組推進担当次長ははっきり言って、不要だと思います。</p> <p>それよりも、市の組織が課単位で横の連携が悪いのが問題ではないでしょうか？</p> <p>例えば、きずきの森へのアクセス道路の問題では、教育委員会スポーツ振興課が北雲雀グラウンド(旧伊藤忠)の利用を活発にしたいと考えるなら、スポーツ振興課が中心になって、花屋敷荘園の住宅地を通るルートを使わないようにするにはどうするか、方策を考えていくべきではないでしょうか？公園河川課とコミュニティひばり環境部会とが検討しても解決できません。</p>	<p>ご意見のアクセス道路の整備については、「花屋敷グラウンド周辺道路整備事業」として企画政策課が所管しており、花屋敷グラウンド及び北雲雀きずきの森の施設全体の一体的な利活用を推進する目的で、スポーツ振興課(花屋敷グラウンドを所管)及び公園河川課(北雲雀きずきの森を所管)とも連携しながら取り組んでいます。今後も、関係課同士及び担当次長における連携・情報共有を図りながら、地域の皆様との対話を進めてまいります。</p>
16	Q3「協働の取組推進担当次長」の関わり方について	協働の取組推進担当次長	<p>常にコミュニティ側と接触しているわけではないので、今のような形で地域から提案して頂く方がいいと思います。</p>	<p>新たに地域と行政との「対話」を始める取り組みについては、引き続き、各まち協から市へ「推進シート」をご提出いただく形で仕組みを運用したいと考えています。</p>
17	Q3「協働の取組推進担当次長」の関わり方について	協働の取組推進担当次長	<p>実際に今年度は対話まで至っていないが、ハード面の技術的な相談になってくると、事務職員では限界がある。所管課での相談から所管室長に説明をお願いするケースもあったとも聞いている。次年度の対話の際には、そのあたりも配慮してもらえればありがたいです。</p>	<p>「対話」の実施に当たっては、担当次長から関係課へ「推進シート」の内容等を説明していただくこととなりますが、所管室長に事前に相談する等、内容に応じて様々な進め方が想定されるため、実際に「推進シート」が提出された段階でどのような進め方をするのかを一緒に検討したいと存じます。また、技術的・専門的な説明をまち協に行うことについては、「対話」の中で関係課から直接まち協に実施していただく必要があると考えています。</p>

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
18	Q3「協働の取組推進担当次長」の関わり方について	協働の取組推進担当次長	<p>担当課がすでに地域とコミュニケーションが取れている場合(例えば;防災等)において、各シートを活用すると二度手間にならないか。</p> <p>今回は防災の担当者が、その内容を伝えてくださり、庁内でのコミュニケーションは取れていた。また、地域では、まちづくり計画の進捗に載せるほどではなかったため二度手間までにはなかった。</p> <p>対話シート等を担当課も共有し、すでに対話ができている場合は、担当課から担当次長に報告する仕組みがあってもいいのではないか。すでにある場合は、申し訳ございません。</p>	<p>仕組みにおいて、既に対話や協働が進んでいる取り組みについては「推進シート」を使わずに、今までどおりのやり方で進めていただくこととしているため、ご意見のような場合は「推進シート」を作成・提出していただく必要はございません。</p> <p>また、作成した「対話シート」については、まち協、対話への出席課、担当次長にそれぞれ共有しています。</p>

## 別紙3: アンケートその他のご意見及び市民協働推進課の考え方

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
1	Q3「協働の取組推進担当次長」の関わり方について	まちづくり協議会	真摯に対応いただいているので問題ありません。今後担当次長が変わることがあれば少し心配です。	担当次長の関わり方についてご評価いただきありがとうございます。今後、人事異動等で担当次長が交代する際は、丁寧に引継ぎを行うようにいたします。
2	Q4その他ご意見	まちづくり協議会	1. 高司、良元、山本山手各まちづくり協議会の対話シートの情報提供、大変参考になり有難うございました。当まちづくり協議会も、今年度から小学校が実施している通学路の安全パトロールに参加する予定です。一歩一歩活動を積み上げて、安全な地域づくりを進めていきたいと考えています。	各まちづくり協議会にかかる「推進シート」「対話シート」については、今後も引き続き、まちづくり協議会代表者交流会等で情報共有を図ってまいります。
3	Q4その他ご意見	まちづくり協議会	手のつけられなかったテーマについては、早々に着手したい	新たに行政との「対話」を希望する取り組みについては「推進シート」をご活用ください。
4	Q4その他ご意見	まちづくり協議会	地域ごとのまちづくり計画を推進するに当り、進捗管理が重要と代表者交流会の席上で意見(提案)を出しています。この進捗管理とはまち協側よりも行政の進捗管理を意味しています。行政側の進捗管理の報告を開示して下さい。	地域ごとのまちづくり計画は、市民の方自らが地域の現状や課題、ニーズを踏まえ、将来像を描き共有しながら、目標や具体的な取組等を取りまとめた計画です。進捗管理においても、市民の皆様の視点で見た現状に基づいて評価していただくことで、市民ニーズに応じた市民主体のまちづくりの推進に繋がっていきますので、ご負担をおかけしますが、各まち協において「進捗確認シート」の作成をお願いいたします。また「進捗確認シート」は市に提出していただくことになっており、提出された「進捗確認シート」は全庁で共有します。
5	Q4その他ご意見	まちづくり協議会	当まちづくり協議会は、スロースターターでありますので、昨年度は、「コミュニティ・スクール」を特に問題なく2校立ち上げましたので、市との対話は申し込んでいません。今年度は本格的に、「防災」「防犯」「見守り」等について市との対話を開始いたします。よろしくお願いいたします。	新たに行政との「対話」を希望する取り組みについては「推進シート」をご活用ください。

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
6	Q4その他ご意見	まちづくり協議会	<p>来年度や再来年になっても「新規」のままにするのでしょうか？          どこかのタイミングで前年度取り組んだバージョンに変えないと、翌年やその次の年度などに備考欄が足りなくなったり見にくくなる、または誤解を招く恐れもあると思います。          実際に今年度当コミュニティで備考欄に記載している内容については、省略したりしました。これ以上書ききれない箇所もあります。          また、翌年度スタート時にこの表を見た時、何が新規で何が継続事項かが、わかりにくいと思います。5年間このまま変更せずに使うとすると、課題がある気がしました。          他のまち協含めて取り組む皆さんがわかりやすく使いやすい形でしたら、どの様なものでも大丈夫ですので、ご検討よろしく願いいたします。</p>	<p>「新規」「継続」の種別につきましても、地域の実情等に合わせて変更していただいても構いません。変更される場合は、年度末に進捗確認シートを作成いただく際、「備考(進捗確認)」欄に変更内容及び変更理由を記載してください。</p> <p>なお、「備考(進捗確認)」欄に記載いただいた内容の内、内容変更にかかるものについては、次年度の進捗確認シートに直接反映させますが、それ以外のものは年度ごとにデータとして蓄積・管理し、次年度の進捗確認シートの「備考(進捗確認)」欄からは一旦削除しています(詳しくは、配布しております「令和4年度進捗確認シート」をご覧ください)。</p>
7	Q4その他ご意見	まちづくり協議会	<p>宝塚市の大きな目標、将来展望を見直さないと行けないのではないのでしょうか。          自治会の課題(高齢化、会員数減少)、道路行政、インフラの劣化、財政問題等、自治会単位、コミュニティ単位ではどうしようもない状況です。市はどれを優先に考えているのか？          あれもこれもでは、進みません。50年後、こういう街になることを目指して、いつまでに何をするか？</p>	<p>本市では、市の最上位の計画で令和3年度(2021年度)から10年間を取組期間とする「第6次宝塚市総合計画」を策定しており、今後、本計画に沿って市民と行政で共にまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、令和4年度(2022年度)は、施政方針において「危機からの再興」「ポストコロナ時代を見据えたまちづくり」「持続可能なまちづくりに向けた取組」の3つを柱に取り組んでいくこととしています。</p>
8	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	<p>コロナ禍により、一切の活動をしていない。逆説的には「地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」を協働で推進するための「対話」「進捗管理」の仕組み」のために担当室長として指名されたが、この制度そのものが無意味であるということではないのか。          令和4年度については「協働の取組推進担当次長」として継続しないほしい。</p>	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の停滞や見直しを余儀なくされている状況であるとの声が、各まち協から届いていました。その中においても「推進シート」を提出していただいたまち協もあり(R4.6月末時点で7組織)、そうしたまち協においては、担当次長の調整の元、関係課との対話を実施しました。今後も、感染症の状況も踏まえつつ、地域の実情に応じて少しずつでも取組が進むよう、各まち協の情報共有等を図りながら、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。</p>

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
9	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	担当地域の協議会メンバーは特に高齢化が進んでおり、またコロナ禍につき、計画の進捗に苦慮していると感じています。その状況での進捗管理について、せめてコロナ禍が大きく終息するまでは、取り決めた事務処理を見送るなど、皆さんの負担を出来るだけ軽減したほうが、と思います。	令和3年度の進捗管理の実施においては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「今年度は実施しない」場合や「年度末までに実施できない」場合などは随時相談・連絡をいただくように、重ねて周知してまいりました。計画の推進は大切ですが、その事務負担によりかえってより良いまちづくりを阻害することのないよう、継続して考えていきたいと存じます。
10	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	担当のまちづくり協議会に関しては、計画の進捗管理(今年度の評価)を会長中心に円滑に進められていました。本地域のまちづくり計画に関しては、道路、公園整備に関連するもので実現がかなり困難と考えられる取組が含まれていますので、後任の担当者には、その点を含めていねいに引き継いでおきたいと思います。事務局には、いつもいねいな資料提供、細やかな配慮をいただき、色々とお世話になりました。ありがとうございました。	計画見直し時から担当次長を担っていただき、ありがとうございました。後任の担当次長が計画の推進の支援に円滑に取り組めるよう努めていきます。
11	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	次長になれば、公平に、必ず経験するようにすべきではないでしょうか。	地域ごとのまちづくり計画は、第6次宝塚市総合計画に位置付けられ、全庁的に取り組む必要があることから、「協働の取組推進担当次長」については、公営企業を含む全部局から、職種・業務内容・休日出勤等を考慮の上、任命しています。今後の任命のあり方については、引き続き検討してまいります。
12	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	意見がないのではなく、コロナ禍とは言え年間を通じてまったく関わり合いもなかったことから、書きようがありません。今年度は「協働」の趣旨にのっとり、推進をお手伝いできるよう対話を重ねていきたいと思っています。	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の停滞や見直しを余儀なくされている状況であるとの声が、各まち協から届いていました。今後、感染症の状況も踏まえつつ、地域の実情に応じて少しずつでも取組が進むよう、各まち協の情報共有等を図りながら、地域の皆様と一緒に考えてまいります。

No	質問区分	意見提出者	意見	市民協働推進課の考え方
13	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	<p>コロナ禍の影響で、「地域ごとのまちづくり計画」に係る「対話」を開始できず、地域でのモチベーションが下がるのではないかと心配でした。ほぼ2年間、具体的な取り組みを進めることができない中、地域の皆さんとの「対話」の開始とともに、地域の熱意がさらに高まっていることに驚き、気持ちが引き締まる思いがしました。コロナ禍でも工夫を凝らし、活動の継続を模索された地域の皆様と、地域の熱意を維持できるように、連携を進めてきた担当課の尽力に感謝します。地域との「対話」が、要望ベースになることなく、建設的な話し合いの積み上げによって、基本目標に掲げたまちづくりが進むよう、取り組んでいきます。</p>	<p>「対話」を重ねることによって、相互理解を深め、信頼関係を大切にしながら、地域ごとのまちづくり計画を地域と行政が協働で推進していけるよう、引き続き、助言・支援等をよろしく願いいたします。</p>
14	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	<p>地域ごとのまちづくり計画の「具体的な取り組み」事項について、令和3年度の進捗状況の評価を実施しているところだと思われませんが、特段、協働の取組推進担当次長には会議出席などの要請はないようですが、地域の皆さんで進捗状況の評価作業は行われているのでしょうか。実際の評価作業の進み具合などの状況が分からないもので、少し気になりました。</p>	<p>令和3年度の進捗管理の実施においては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「今年度は実施しない」場合や「年度末までに実施できない」場合、「『協働の取組推進担当次長』の出席は求めない」場合など、地域によって様々でした。令和4年7月時点で16のまちづくり協議会が評価を実施し、市に「進捗確認シート」を提出いただいています。庁内のグループウェアにも掲載していますので、ご覧ください。</p>
15	Q4その他ご意見	協働の取組推進担当次長	<p>進捗状況の確認の会議に2回出席したが、特に助言をする場面はなかった。協議会の中で事前にシートのチェックをされていたので、スムーズな作業ができていたと思います。今後も定期的に確認をしていきたいとの意見があり、意識の高さがうかがえました。</p>	<p>進捗管理のための話し合いにご出席いただき、ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。</p>
16	Q4その他ご意見	関係課	<p>地域の生の声を聴ける貴重な場で大変勉強になりました。市役所の机上で物事や計画を考えることも大切ですが、地域の困り事、関心事、特性などを直接見聞きすることが何倍も重要だと感じます。現場を担う係長以下の職員や若手職員が、このような会議に出席したり地域に出かけたりしてもっと地域の方々とコミュニケーションを取っていくことが必要だと考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、「地域ごとのまちづくり計画」を地域と行政の「協働」で推進していくためには、まずはお互いの信頼関係を構築していくことが大切であり、そのためには、両者が「対話」を通じて想いや考えを共有し合うことが基本となると考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>